


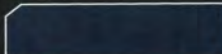
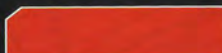

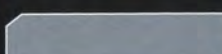
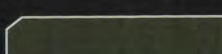

XXXG-01SR GUNDAM SANDROCK

NEW MOBILE REPORT GUNDAM W ENDLESS WALTZ
XXXG-01SR GUNDAM SANDROCK 1/100 SCALE MASTER GRADE MODEL

PAINTING (塗装)

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

ガンダムサンドロック EW 指定色

	本体などの塗装色 ホワイト (95%) + グレー (5%)
	胸部、つま先などの塗装色 ブルーグレー (85%) + ブラック (10%) + ブルー (5%) + レッド (少量)
	コクピットハッチなどの塗装色 モンザレッド (45%) + シャインレッド (45%) + ホワイト (10%)
	アンテナなどの塗装色 イエロー (55%) + ホワイト (30%) + オレンジイエロー (15%)
	バックパックなどの塗装色 グレー (55%) + ホワイト (30%) + パープル (10%) + ブラック (5%)
	武器などの塗装色 グレー (60%) + ブラック (40%)
	目などの塗装色 クリア (40%) + クリアブルー (40%) + クリアグリーン (20%)

●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。
※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。



ワンポイントステップ ~One point step~

顔を中心にスミ入れしてみよう!

ガンダムマーカー/スミ入れ用 (別売り) などを使用して、キットのスミ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。









[before]



[after]

カトル・ラバー・パウナー

	顔などはだ色部 ホワイト (60%) + 薄茶色 (40%)
	髪などの塗装色 ホワイト (70%) + イエロー (30%)
	シャツの塗装色 ホワイト (90%) + ピンク (10%) + グレー (少量)
	ジャケットの塗装色 グレー (80%) + ホワイト (10%) + パープル (5%) + スカイブルー (5%)
	パンツの塗装色 ウッドブラウン (80%) + ホワイト (20%)
	靴の塗装色 マホガニー (100%)



GUNDAM-W
Endless Waltz
敗者たちの栄光



XXXG-01SR
「ガンダムサンドロック EW」
1/100スケール
マスターグレードモデル

GUNDAM SANDROCK XXXG-01SR
NEW MOBILE REPORT GUNDAM W ENDLESS WALTZ
XXXG-01SR GUNDAM SANDROCK 1/100 SCALE MASTER GRADE MODEL



XXXG-01SR
「ガンダムサンドロック EW」
1/100スケール
マスターグレードモデル



NEW MOBILE REPORT GUNDAM W

MS Design

「TV版」ガンダムサンドロック と「エンドレスワルツ版」ガンダムサンドロック

ガンダムサンドロックEWの“EW”とは、OVA『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』に由来する。“サンドロック”はTVシリーズの主力機のひとつとして登場し、カトルが所属する“アラブ世界”の意匠を身にまとっていた。モチーフは“アリババと40人の盗賊”で、カトルを慕う40人の仲間とMSマグアナックの部隊が付き従っている。

TVシリーズ『新機動戦記ガンダムW』は好評を博した。そして放映終了後、熱烈なファンの要望に応える形で『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』が全3話のOVAとして製作されることとなった。このOVAシリーズは後に新作シーンの追加と再編集を経て、劇場作品として公開された。エピソードとしてはTVシリーズの後日譚であり、軍事力を否定する物語でありながら、主人公たちのMSもまた兵器に他ならないジレンマに決着をつけるという趣向であった。さらに、両者の世界は=（イコール）ではなく≠（ニア



▲カトキハジメ氏が描き下ろし、劇場版『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』のパンフレットに掲載されたイラスト

TVシリーズデザイン



ウイングガンダム ガンダムデスサイズ ガンダムヘビーアームズ ガンダムサンドロック シェンロンガンダム

EW仕様（カトキハジメ）デザイン



ウイングガンダム ガンダムデスサイズ ガンダムヘビーアームズ ガンダムサンドロック シェンロンガンダム

イコール)。言わばパラレルワールドとも呼べる世界であり、特に主役級MS（モビルスーツ）のデザインは完全に刷新された。カトキハジメ氏によるOVA版のデザインは、大河原邦氏によるTV版デザインを踏襲しつつ、より深く世界観に寄り添うよう調整が施されることとなった。劇中に登場するのは、いわゆる“パワーアップ版”である後継機のみだが、OVA版の世界観を俯瞰した場合、その初期型が存在して然るべきとしてカトキ氏が描いた機体がEW版、俗に“アーリータイプ”と呼ばれる機体群なのである。OVA版のタイムラインはTV版の一年後であり、“サンドロック”はTVシリーズの中盤で、主であるカトルの身代わりとなって自爆するが、後に回収され、宇宙空間での戦闘に対応した“サンドロック改”として復活する。その際、機体のシルエットはほとんど変わらず、パーニア周りのパーツを中心に“宇宙用”として強化された程度で、さながらカトルの性格を反映したかのように、その変化は慎ましかなものであった。OVA版では武器がさらに大型化され、カラーリングも大きく変更、さらに特徴的なマントをまとっていた。目立つ位置に紫を基調とする高貴な色が配されたOVA版の“サンドロック改”は、かつてゼロシステムに翻弄され、絶望と悔恨に苛まれつつ、それらを克服したカトルの“強さ”を象徴するかのようなたずまいを獲得していた。その先駆となった機体としてデザインされたのがサンドロックEWなのである。

Gundam W Story Playback

OZに対抗するL4コロニーの大富豪ウィナー家の嫡男で、腹違いの姉が29人もいる。優しく温和な性格だが、非武装を唱える父と対立。H教授の指示のもと、平和を勝ち取るべくガンダムサンドロックを駆って地球へ。マグアナック隊と合流する。ガンダムパイロットたちとも友情を育みながら戦い続け、敵に対しては降伏を勧めることも多かった。宇宙に帰還し、父の死と姉の負傷に直面したカトルは、ウイングゼロによって復讐に走ってしまうが、トロワの決死の行動で正気を取り戻し、優しさと強さを備えた真のリーダーへと成長する。



カトル・ラバ・ウィナー

アラブの中でも有数の財力を持つウィナー家の一人息子。ガンダムのパイロットたちと友情を築きながら平和のために戦い続ける。リーダー的存在。またOVAで一度はガンダムを太陽へ廃棄するが、マリーメイア軍に対し再びサンドロック改を駆り地球へ降下、戦闘を繰り広げた。

ガンダムパイロットたちのリーダー的存在で、平和な世界にガンダムは不要と考え、各機の廃棄を提案。五飛が拒んだアルトロン以外の4機のガンダムを太陽へと投棄する。しかし、その折も折り、マリーメイア軍が行動を開始したため、ガンダムを回収すべくラシードたちと惑星間宇宙船で太陽へとむかう。ガンダムを回収した後、ヒロたちにガンダムを届け、自らもサンドロック改に搭乗、地球へと降下し、ゼクス、ノインらとともにブリュッセル攻略戦に参加。パイロットを極力傷つけないで機体のみを破壊するという無血戦闘を展開した。



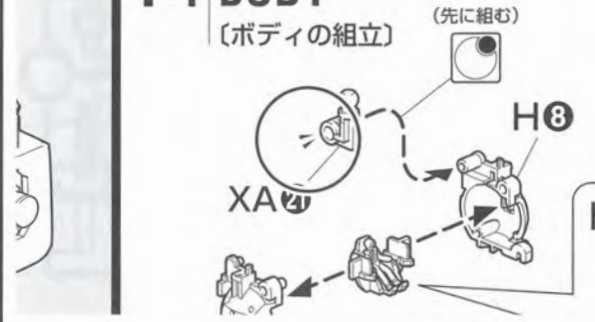
組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て途中に1/1についている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。

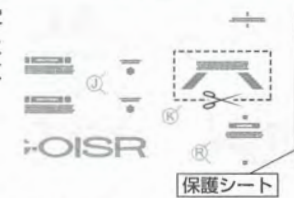
1-1 BODY

〔ボディの組立〕



ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。



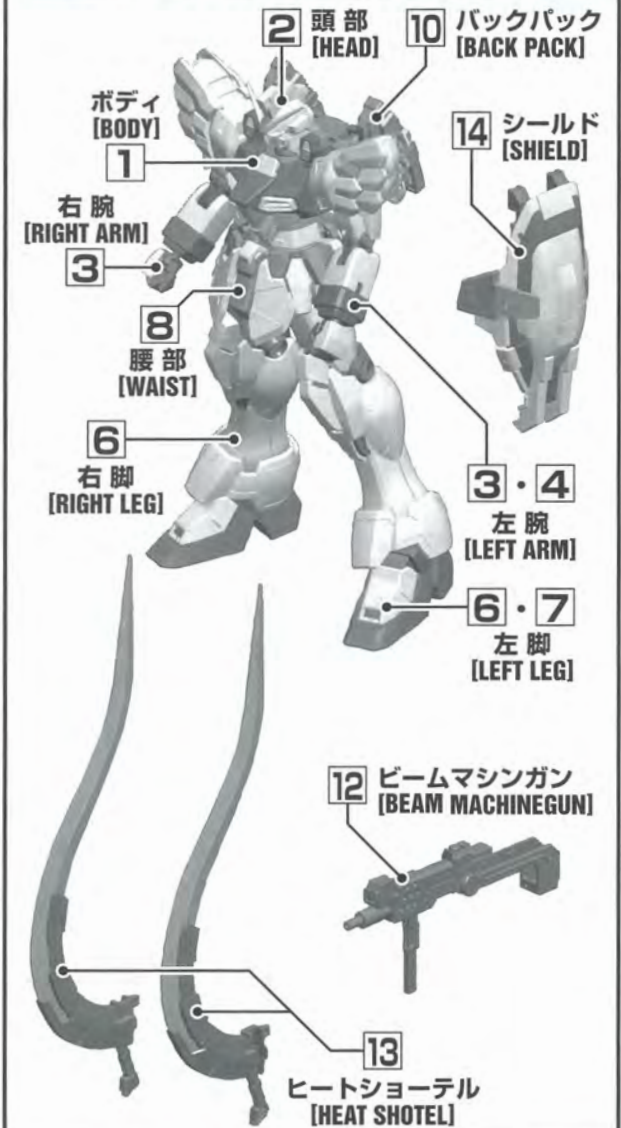
②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。



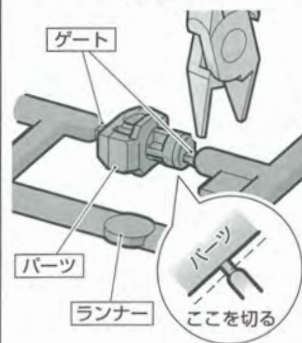
※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう

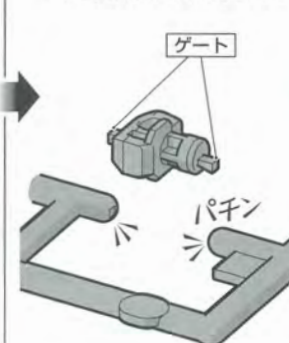


パーツの切り取りかた

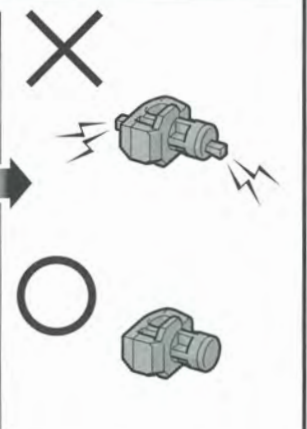
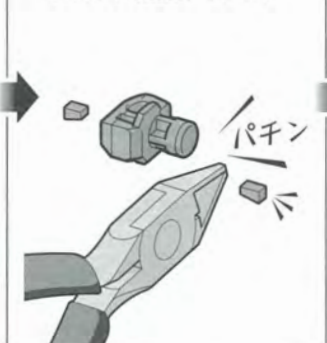
①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。



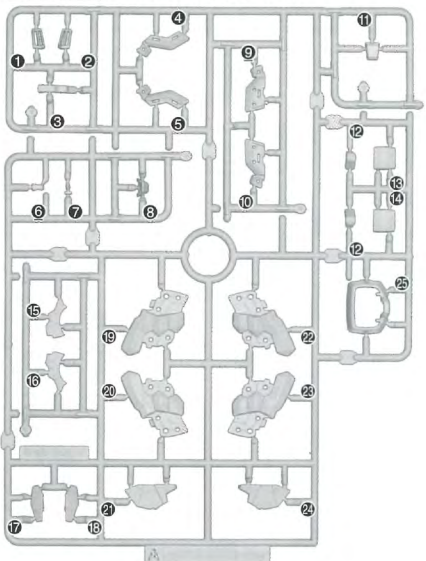
③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



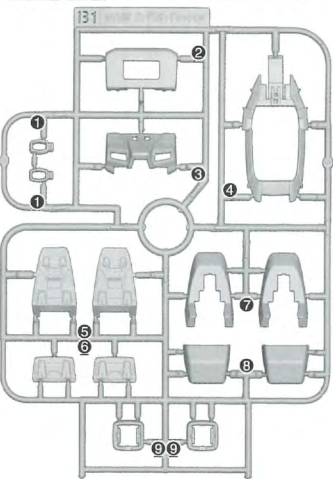
パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

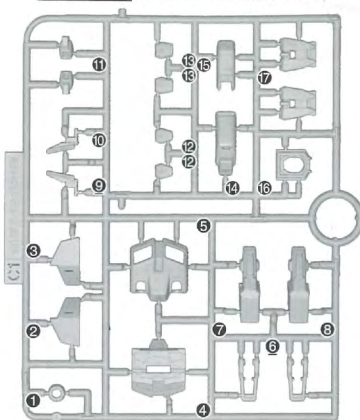
Aパーツ (スチロール樹脂 : PS)



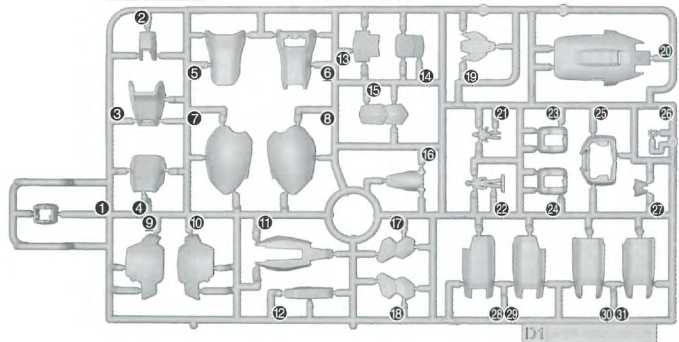
B1パーツ (スチロール樹脂 : PS)



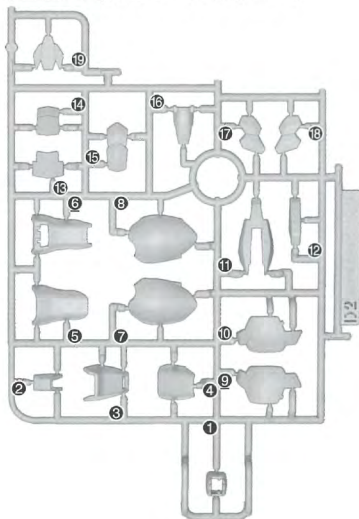
C1パーツ (スチロール樹脂 : PS)



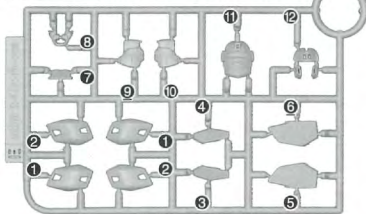
D1パーツ (スチロール樹脂 : PS)



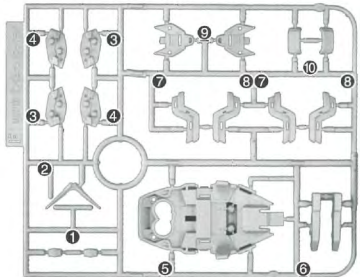
D2パーツ (スチロール樹脂 : PS)



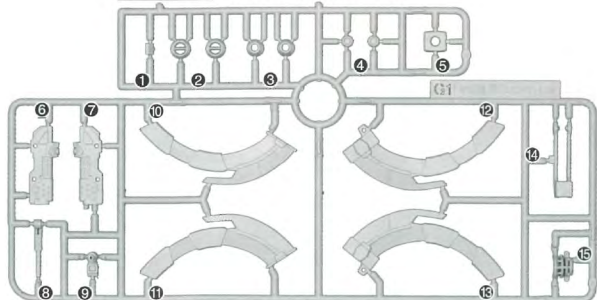
Eパーツ (スチロール樹脂 : PS)



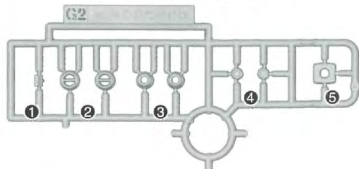
Fパーツ (スチロール樹脂 : PS)



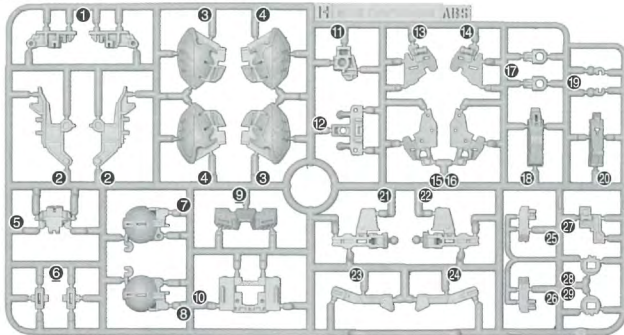
G1パーツ (スチロール樹脂 : PS)



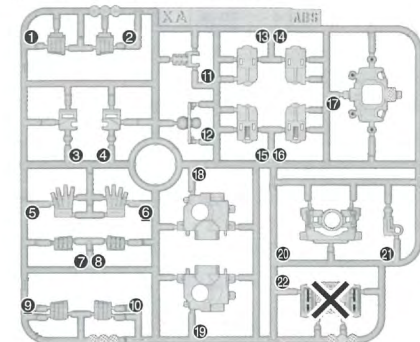
G2パーツ (スチロール樹脂 : PS)



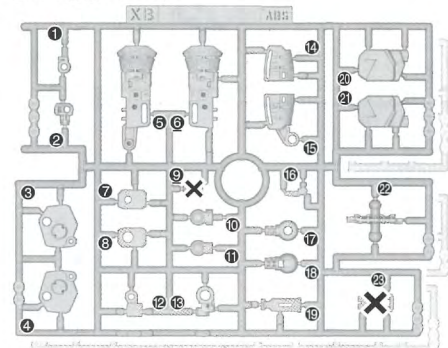
Hパーツ (ABS樹脂 : ABS)



XAパーツ (ABS樹脂 : ABS)



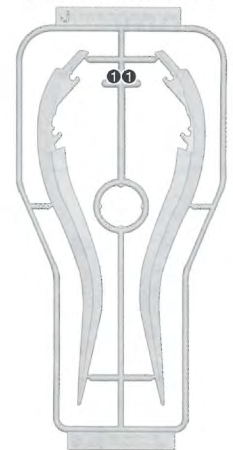
XBパーツ (×2)
(ABS樹脂 : ABS)



Jパーツ (シルバー)
(スチロール樹脂 : PS)



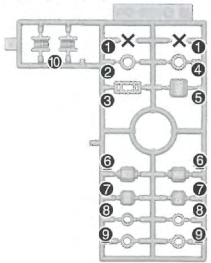
Jパーツ (クリアレッド)
(スチロール樹脂 : PS)



Iパーツ
(スチロール樹脂 : PS)



PC-205Aパーツ
(ポリエチレン : PE)



カラーシール.....1枚
マーキングシール.....1枚
ガンダムデカール.....1枚

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

注意

必ずお読みください

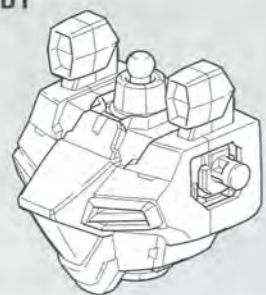
- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

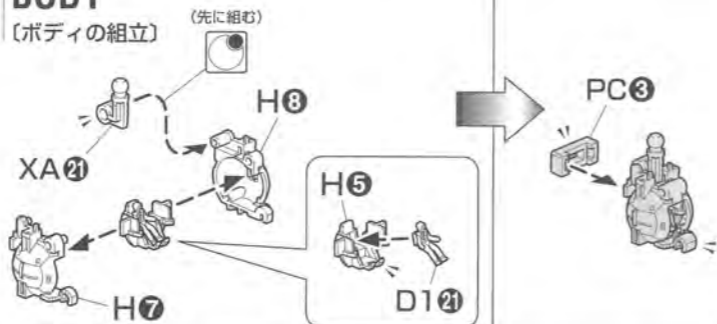
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

・鋭い部分で切る	・シールの番号	・順番通りに組み立てる	・反対側に取り付けるパーツ	・両側同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・鋭い部分で切る
・切り取る	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・鋭い部分で切る

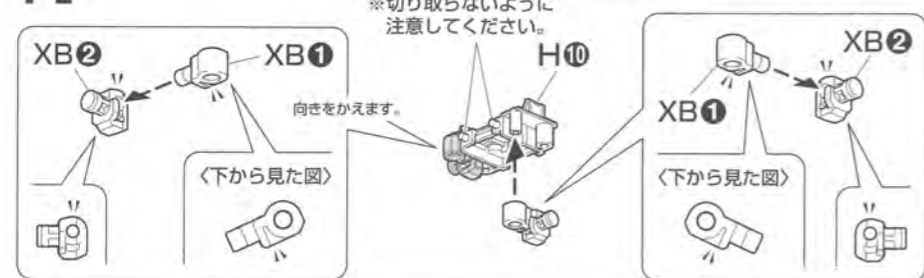
1 BODY



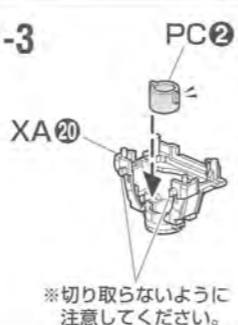
1-1 BODY



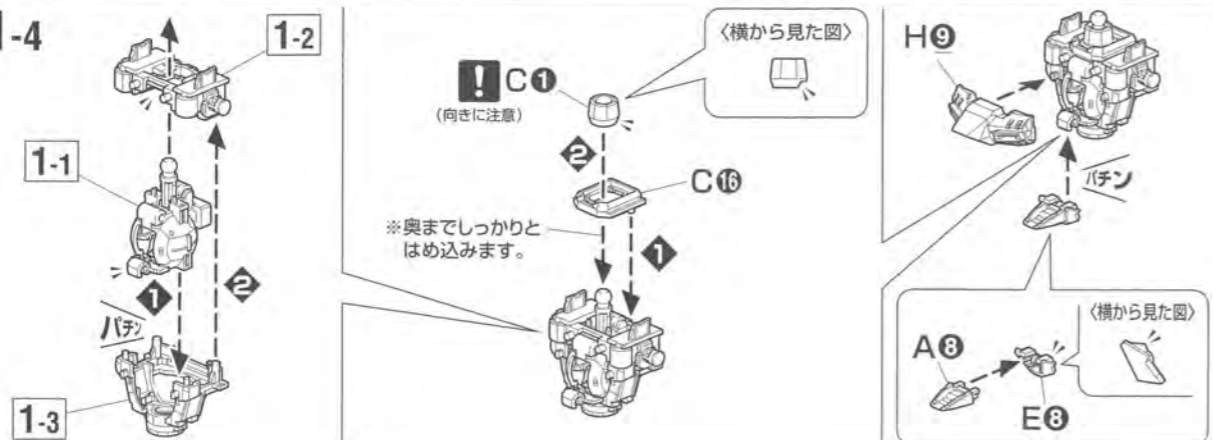
1-2



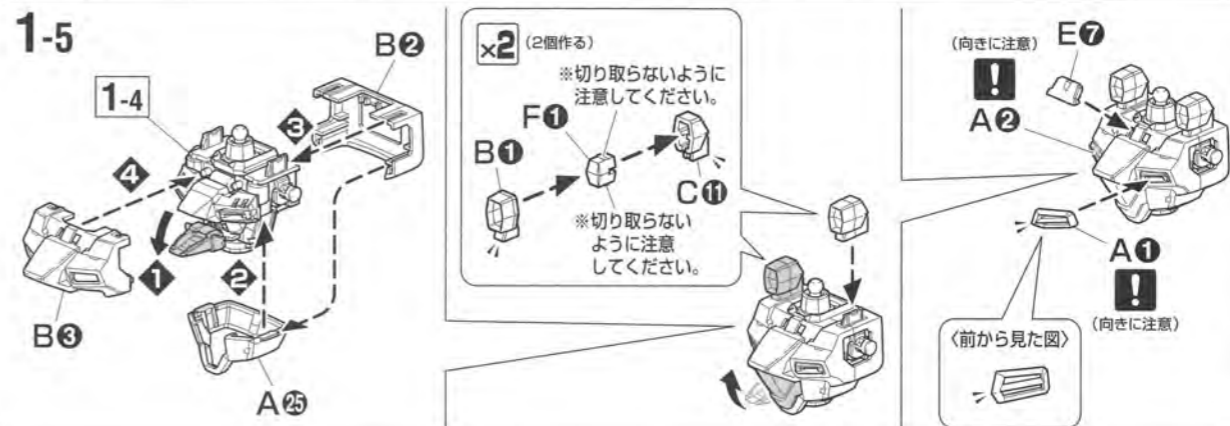
1-3



1-4



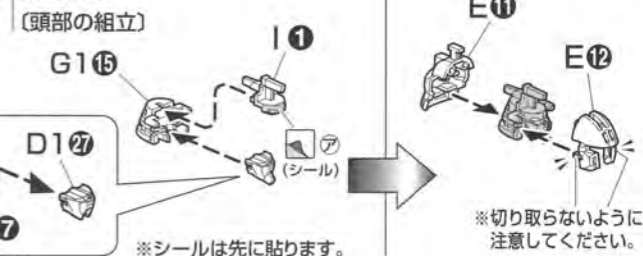
1-5



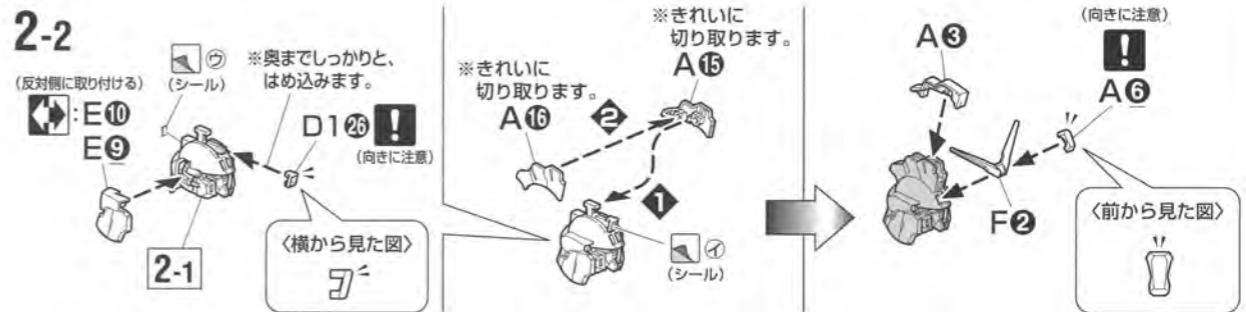
2 HEAD



2-1 HEAD



2-2



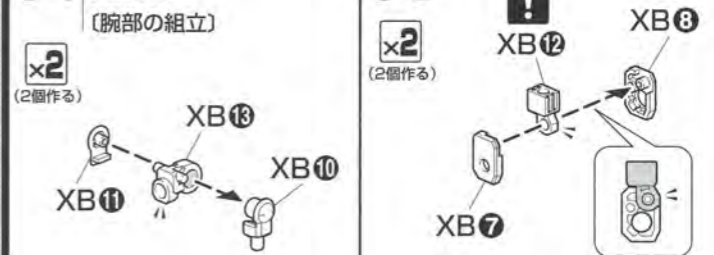
3 RIGHT ARM



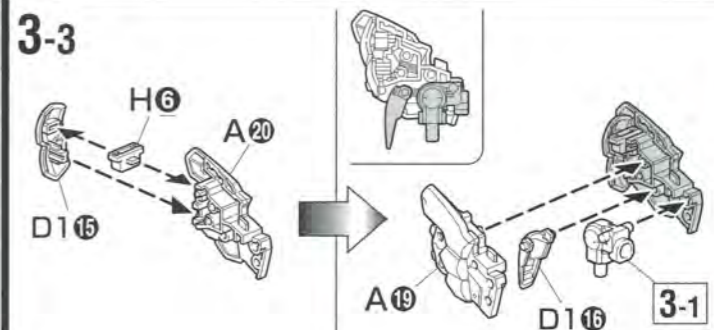
4 LEFT ARM



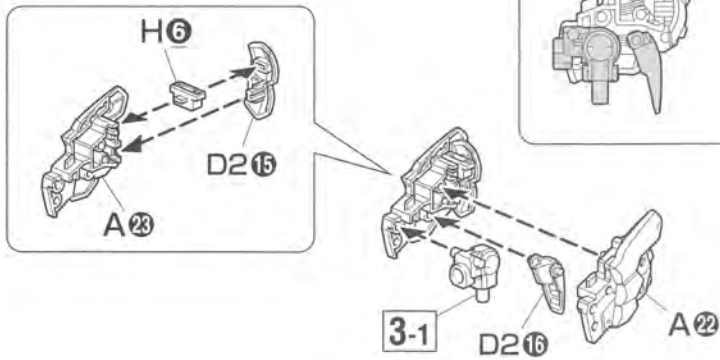
3-1 ARM



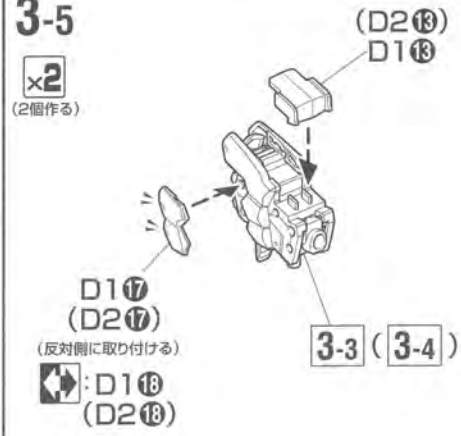
3-2



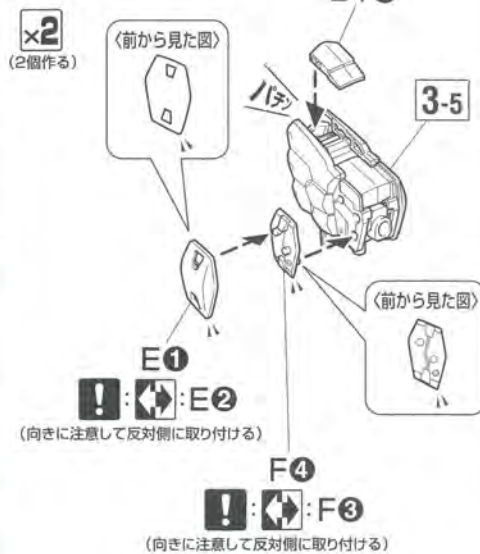
3-4



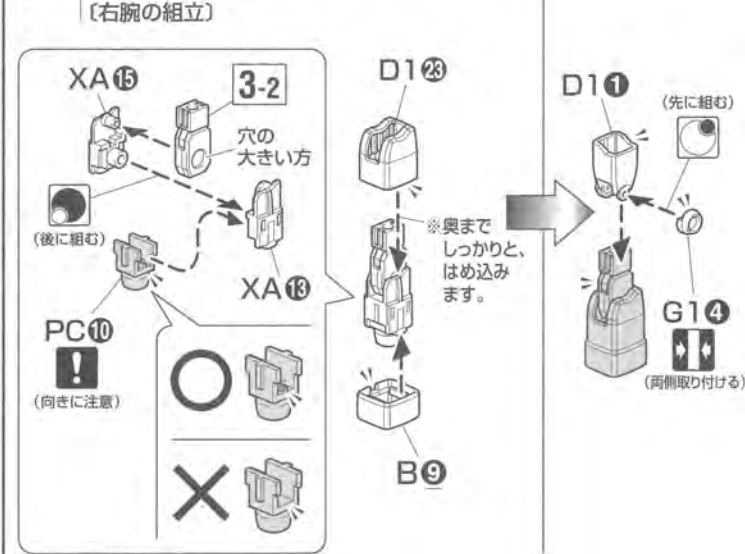
3-5



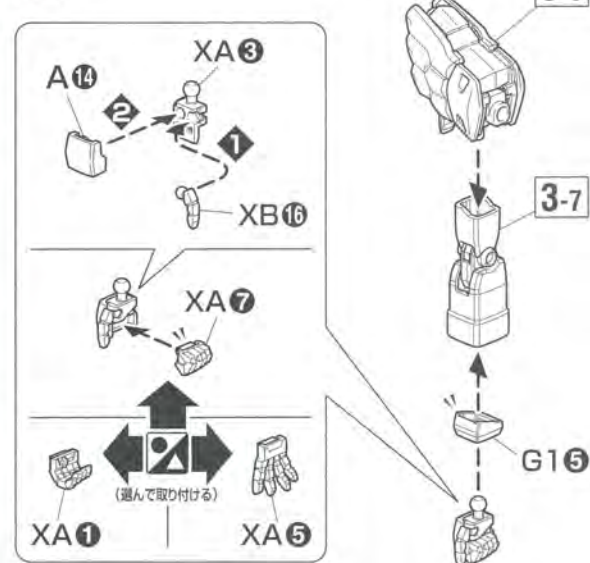
3-6



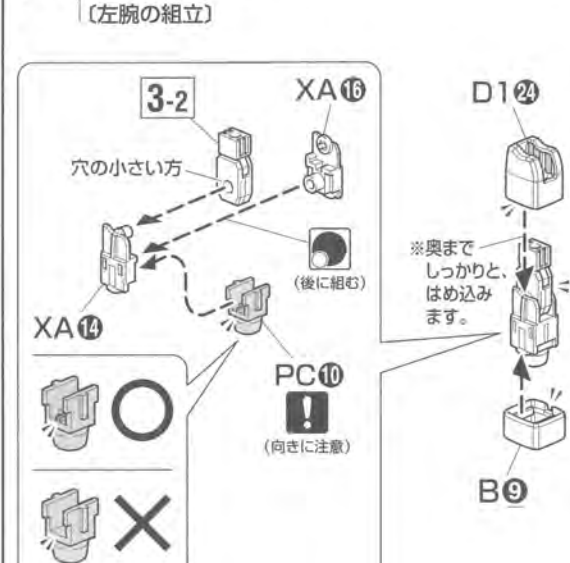
3-7 RIGHT ARM



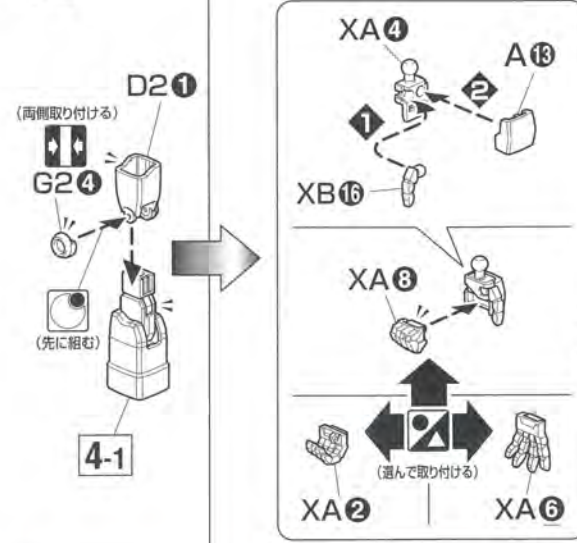
3-8



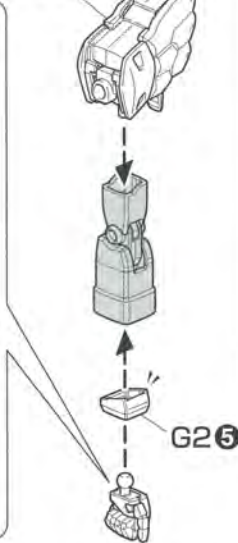
4-1 LEFT ARM



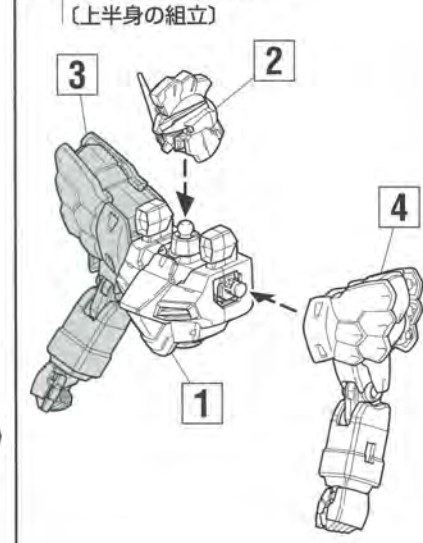
4-2



3-6



5 UPPER BODY



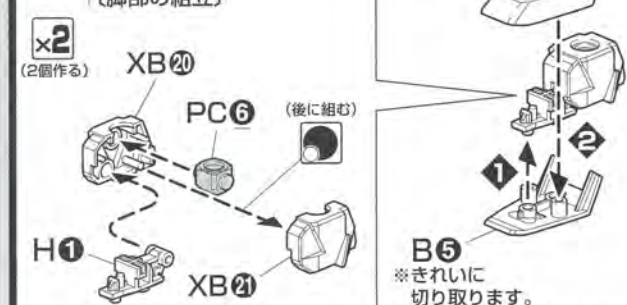
6 RIGHT LEG



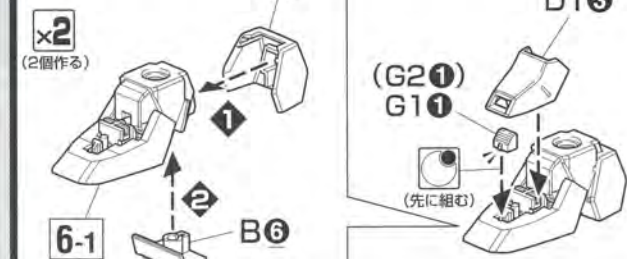
7 LEFT LEG



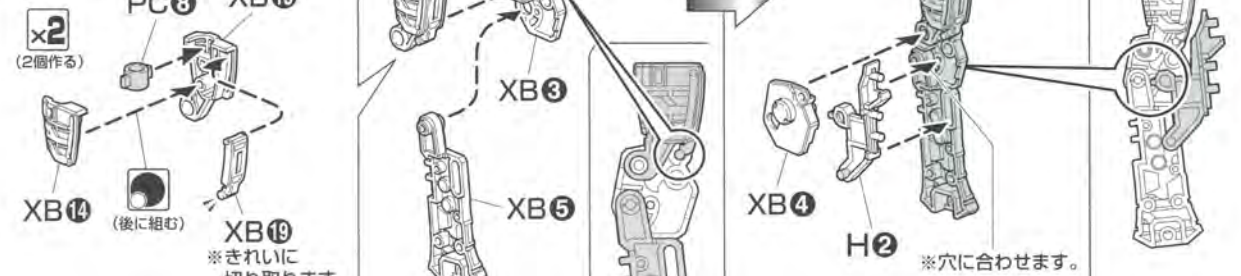
6-1 LEG



6-2



6-3



GUNDAM W ANOTHER ASPECT

Scenario for Bloodshed (流血へのシナリオ)

OZの首脳部が集結するという情報に従い、ヒロのウイング、デュオのデスサイズ、そしてトロワのヘビーアームズ、カトルのサンドロックがニューエドワーズ基地を襲撃する。だがそれはトレースの計略であった。「今日は話してられない。僕の方が不利だから!!」トロワに続いて参戦したカトルは2機のリーオーをヒートショーテルで両断する。「OZの新鋭機なのか?」「だが連合に仕掛けてるぞ!」初めて見るヘビーアームズとサンドロックを訝むヒロとデュオ。「トロワ、あの機体、僕たちとそっくりじゃないか」「なんてあろうと、敵ならば戦う」睨み合う2機と2機。その時、彼らの背後からシャトルが発進した。機体に追いつき、OZの紋章を確認したヒロは、迷わず撃墜する。そこにシェンロン=ナタクを駆る五飛が現れ、4人はOZの陰謀にまんまと乗せられてしまったことを告げる。シャトルには連合の穏健派が乗り込んでいたのだ。結果としてヒロたちは連合の平和論者を一掃してしましたことになる。連合軍は、これをコロニー側の宣戦布告と断定。同時にOZは「オペレーション・テイブレイク」を発動。各基地に潜伏していたOZのシンパが一斉蜂起し、地球圏統一連合の解体と、ロームフェラ財団による地球支配が加速して行くのだった……。



Betrayed by Home, Far Away (裏切りの遠き故郷)

OZの陰謀を白日の下に晒すべく、宇宙への帰還を決意したカトルとデュオは、OZのシンガポール宇宙港へ向かう。基地のあちこちで火の手が上がり、無数のMSがサンドロックとデスサイズの前進を阻む。あまりの数に舌を巻くデュオ。「さすがOZの最新基地だ。これじゃ前へ進めないぜ」「MS打ち上げ用HLVまで、一気にいきます!!」ふたりは自身の「戦う姿」を「仲間へのメッセージ」として何度も立ち上がる。だがしかし、故郷であったはずのコロニーは、OZの計略によって「ガンダムは敵である」と宣言した。「立て、サンドロック!! まだやられるわけには行かないんだ……」「多分、俺たちいい事してるはずなんだけどなア……なんでこんなところで死ななきゃならないんだ……!!」その時、炎の向こうからシェンロンがゆらりと出現し、五飛が叱咤する。「それは、俺たちが正しいからだ……正しいのだ。俺たちはアツ!!」さらにモニターにはヘビーアームズとウイングも映し出された。ふたりの想いは仲間たちに届いていたのだ!! そして4人がおのおのの発進準備を進める中、最後までサンドロックを駆って敵の前に立ちはだかっていたカトルは、ある決意をする!!

GUNDAM W
Endless Waltz
敗者たちの栄光

シナリオ 隅沢克之
作画 小笠原智史

コミック / 単行本2巻好評発売中

GUNDAM W
GUNDAM W
GUNDAM W
GUNDAM W

GUNDAM W FEATURE #4

Comic カトルとトロワ、ヒロとデュオそして五飛。それぞれの出会いが交差する……。

A.C.195年。「オペレーション・メテオ」に端を発する動乱の時代。地球に降りた5機の「ガンダム」が地球圏統一連合の圧政に叛旗を翻す。サンドロックを駆って連合のコルシカ基地を襲撃したカトルは、そこで別の「ガンダム」と出会う。果たしてヘビーアームズは敵か、味方か……!? 『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz 敗者たちの栄光』コミックス第2巻。さらに、伝説のMSトールギスの復活。真の陰謀「オペレーション・プレイアデス」も発動する!!

『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz 敗者たちの栄光』は「月刊ガンダムエース」(角川書店)にて好評連載

著者 隅沢克之
作画 あさぎ桜
カトキハジメ

小説 / 単行本3、4巻好評発売中

マーズセンチュリー
M.C.22年。MSの激戦が火星の赤い大地を揺るがす!!

Novel

ヒロの前に立ちはだかるマグアナック隊。彼らを率いるカトリーヌの目的とは何か!? そして赤のエピオンvs白のエピオンパイ、スノーホワイト&ワロックvsビルゴIV軍団。この混迷は更なる動乱の予兆に過ぎないのか? 果たして「P・P・P(パーフェクト・ピース・プログラム)」とは?

『新機動戦記ガンダムW フロズン・ティアドロップ』は「月刊ガンダムエース」(角川書店)にて好評連載

GUNDAM SANDROCK XXXG-01SR

Endless Waltz 敗者たちの栄光

両刃の剣を持つMS「ガンダムサンドロック」が「EW版」としてMGに登場!



Illustration: Katoki Hajime

俗に「アーリータイプ」と呼ばれる5機のガンダムは、OVAシリーズを再構成した劇場版「Endless Waltz特別編」のパンフレットに掲載されたカトキハジメ氏による描き下ろしイラストである。映像作品には登場しないが、世界的には存在するはずの「パワーアップ前の機体」を想定してデザインされたものだ。「EW仕様」のラインを踏まえたそのイメージは、現在に至るまで、ディーブなファンのみならず広く認知されているもの、その立体化などは一部マニアックな商品にとどまっていた。しかし、2010年の「月刊ガンダムエース(角川書店)」および「サンライズ」のタグによる「ガンダムW」再起動と、コミック「新機動戦記ガンダムW Endless Waltz 敗者たちの栄光」連載開始に伴い、コミックに登場するMSのデザインは「アーリータイプ」が採用されることとなった。これを受けて、そのMG化も同時に始動することとなった。「アーリータイプ」MG第5弾となるガンダムサンドロックは、特徴的な大型ヒートショーテルをはじめとする武装のブラッシュアップや組み合わせ、それらを踏まえてのディテールと可動域の調整など、カトキハジメ氏自身によるデザインやギミックの再検証を経て、さらに設定に準じた内部フレームの共通化などを基本仕様とし、現時点でのMGに相応しいスペックとなった。



MG GUNDAM SANDROCK MODEL DATA



バックパックのヒートショーテル接続基部が前方へ乗り出し、手首の可動と相まって自然な握りを演出。

引き出し式の肩関節により、ヒートショーテルを両手で構えるダイナミックなアクションも可能。

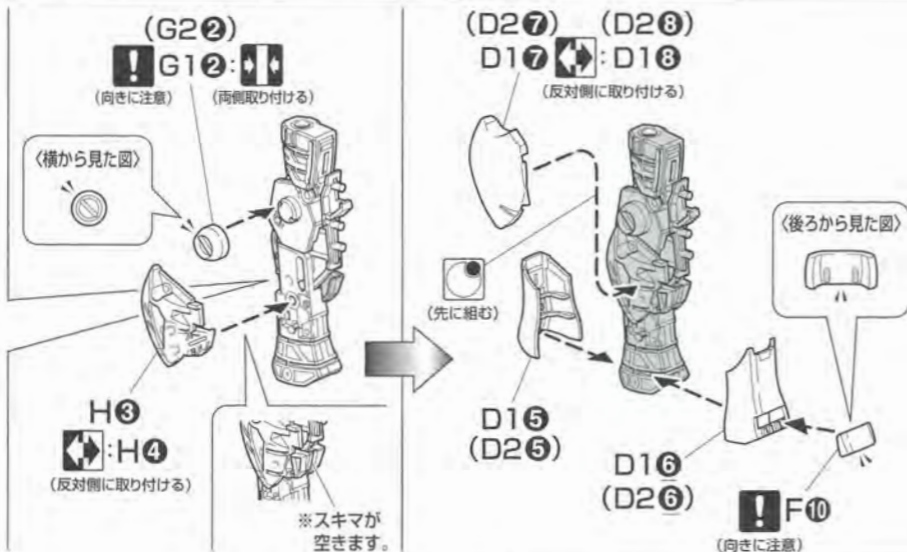
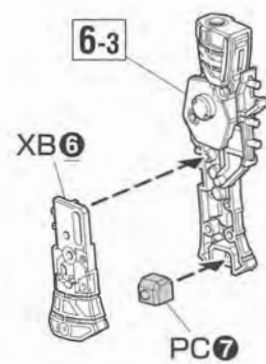
付属のビームマシンガンは、グリップとストック(肩当て)パーツが展開。シールドと本体背面にもマウントが可能。



「MG ウイングガンダム EW」「MG ガンダムデスサイズ EW」は別売りです。「MG シェンロンガンダム EW」は別売りです。写真はバンダイプラモデル アクションベース1(別売り)を4セット使用しています。

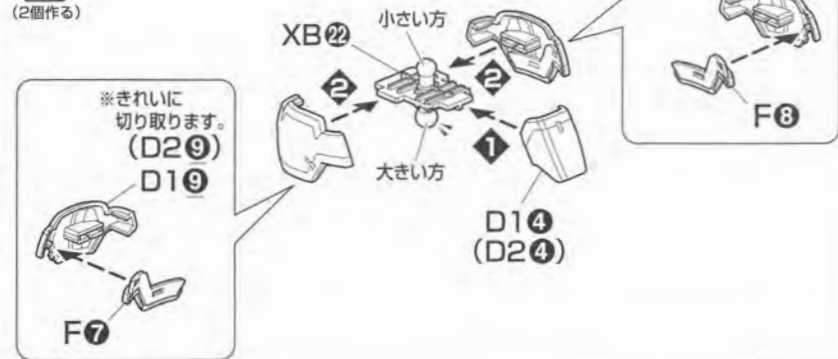
6-4

×2
(2個作る)



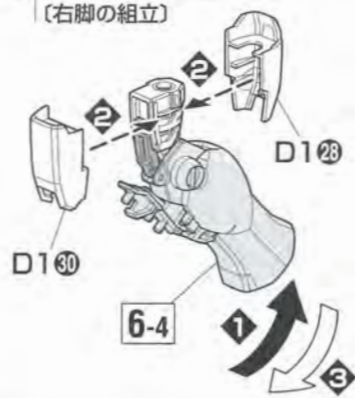
6-5

×2
(2個作る)

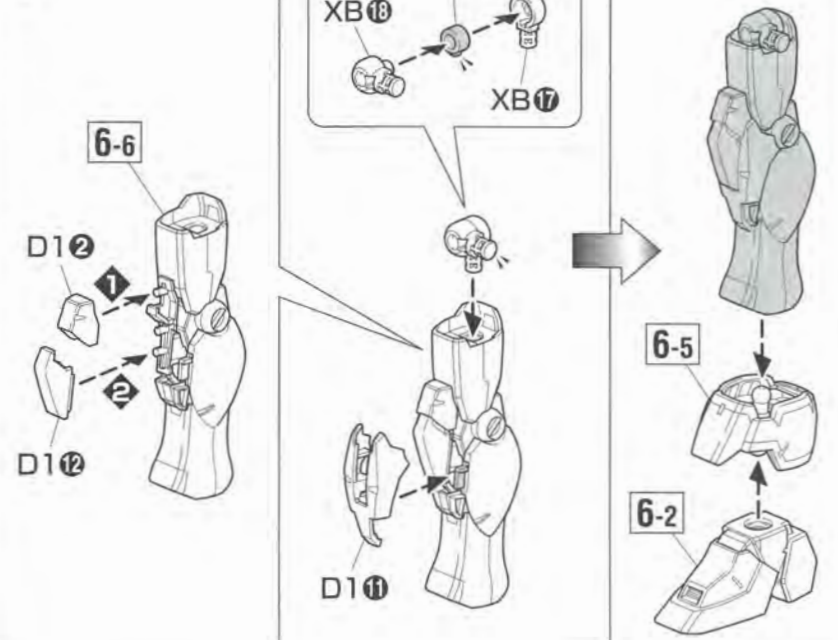


6-6 RIGHT LEG

(右脚の組立)

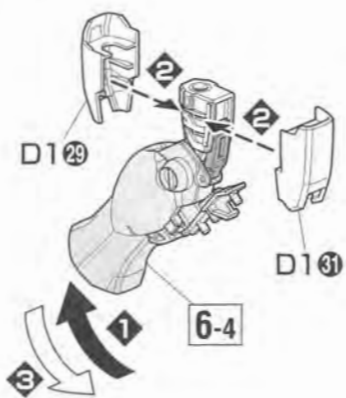


6-7

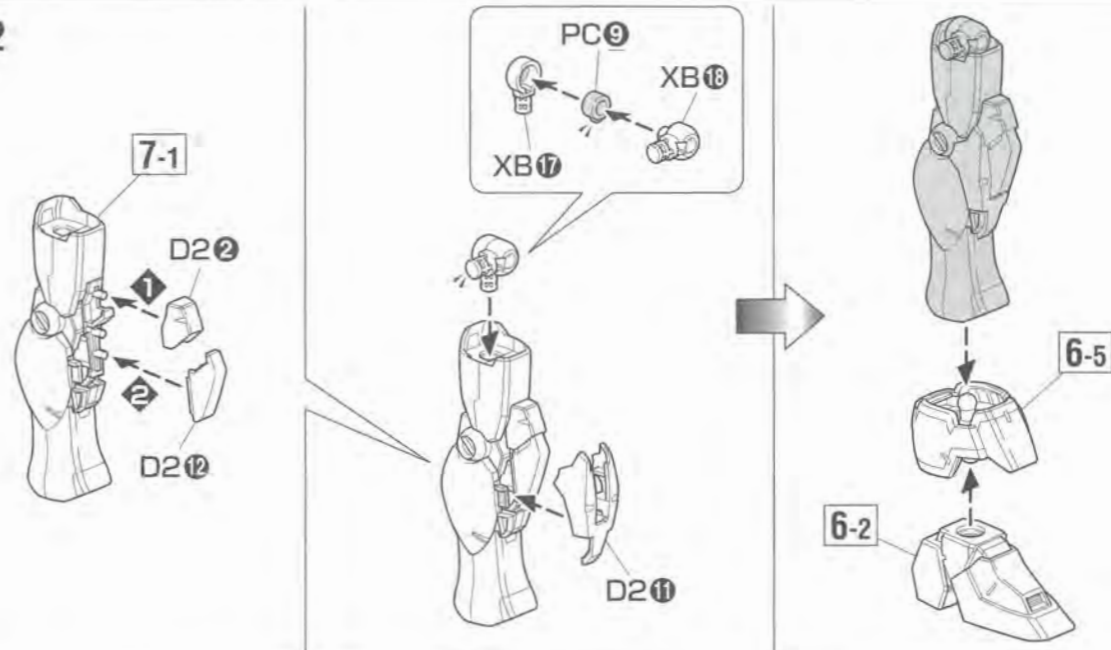


7-1 LEFT LEG

(左脚の組立)



7-2

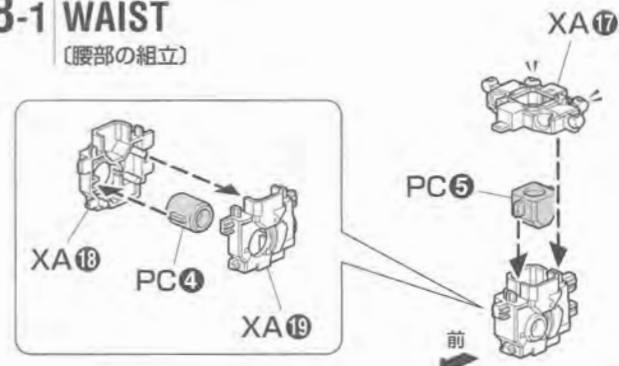


8 WAIST

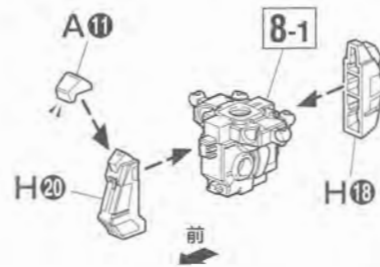


8-1 WAIST

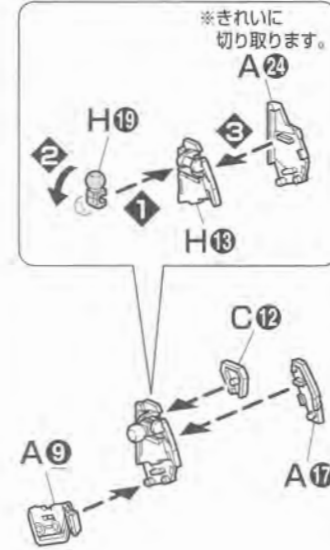
(腰部の組立)



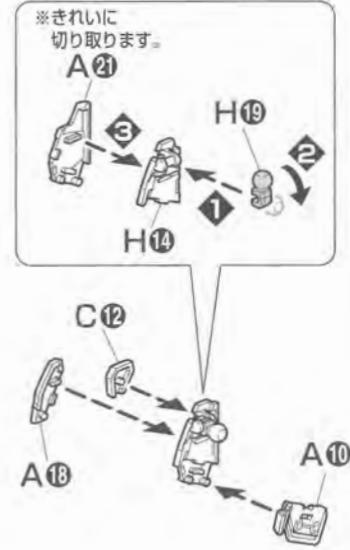
8-2



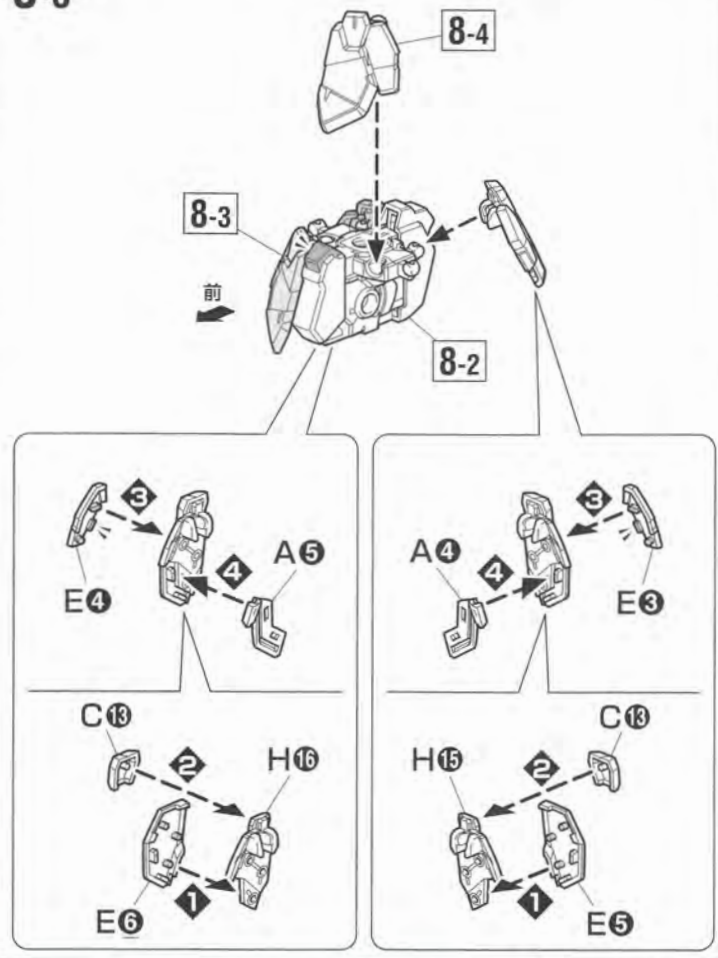
8-3



8-4

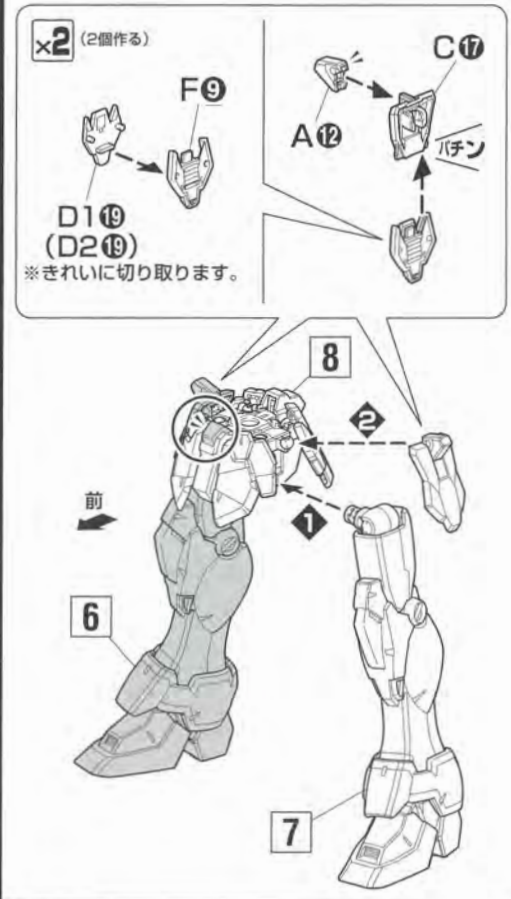


8-5

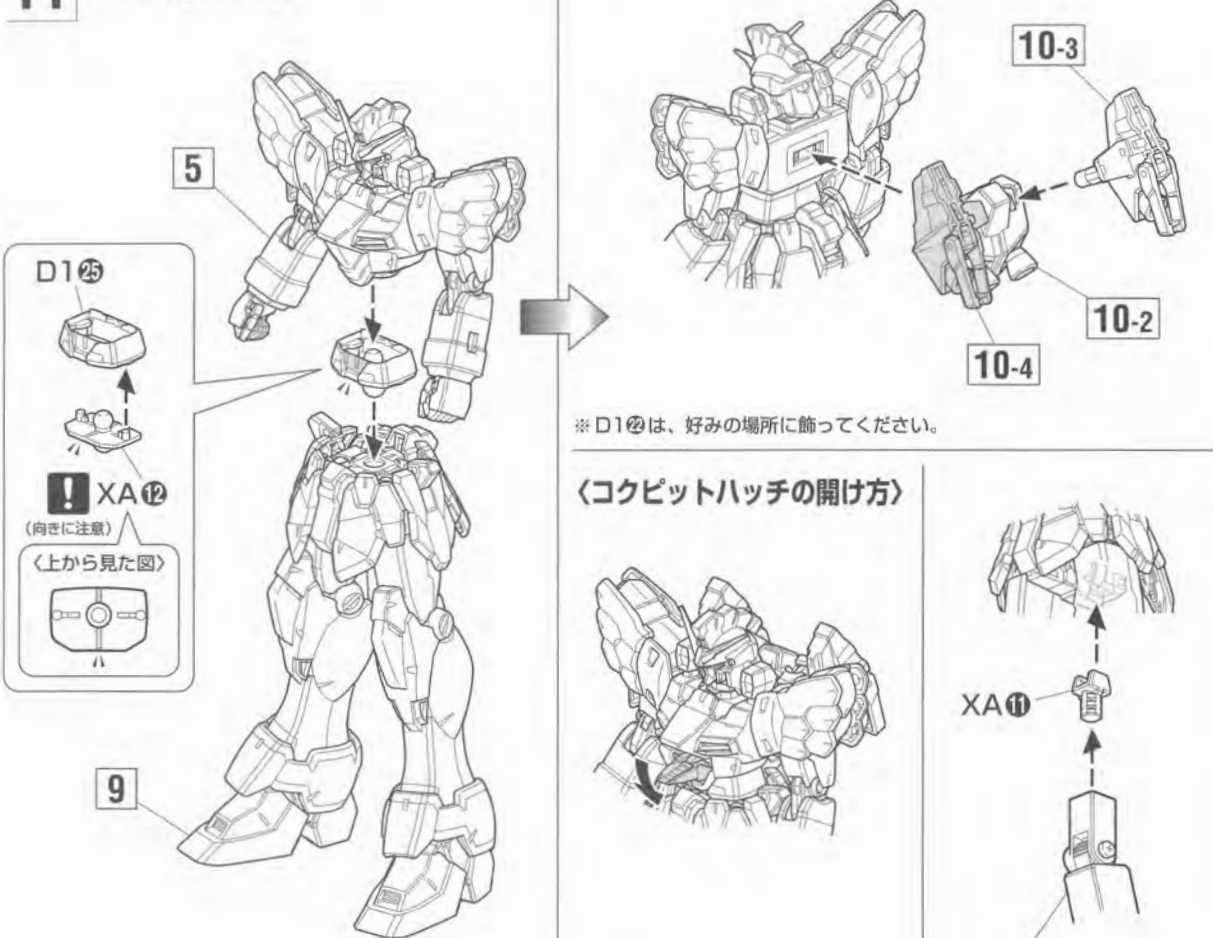


9 BOTTOM

(下半身の組立)



11 FINAL ASSEMBLE

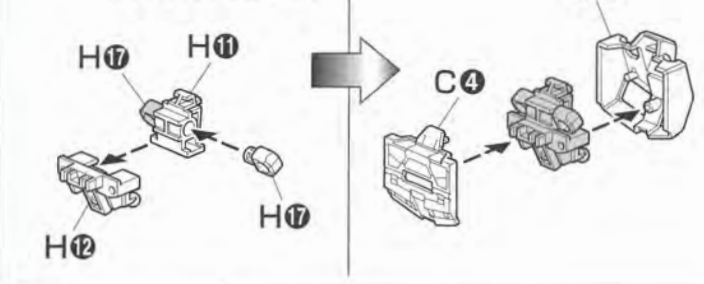


10 BACK PACK

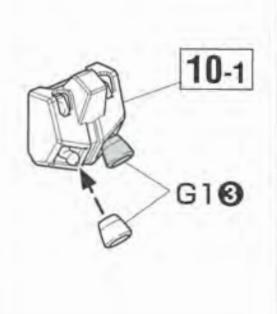


10-1 BACK PACK

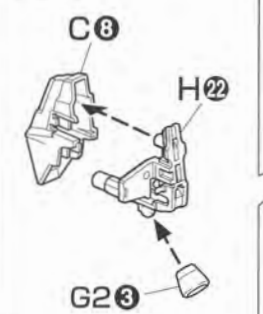
(バックパックの組立)



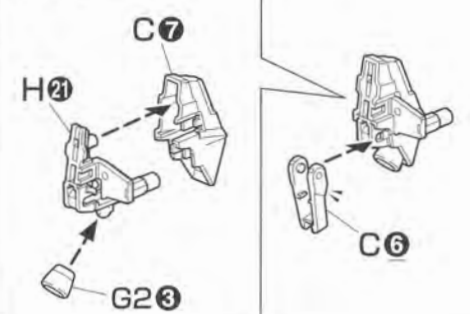
10-2



10-3



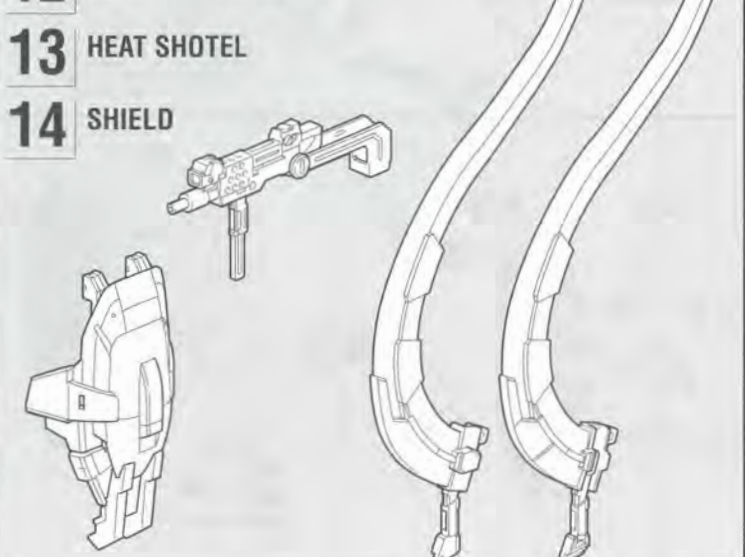
10-4



12 BEAM MACHINEGUN

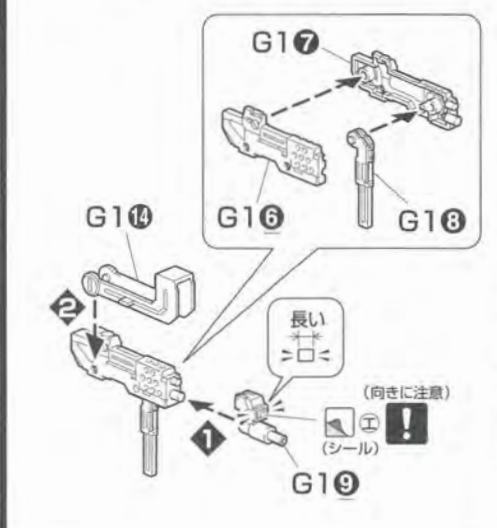
13 HEAT SHOTEL

14 SHIELD



12 BEAM MACHINEGUN

(ビームマシンガンの組立)

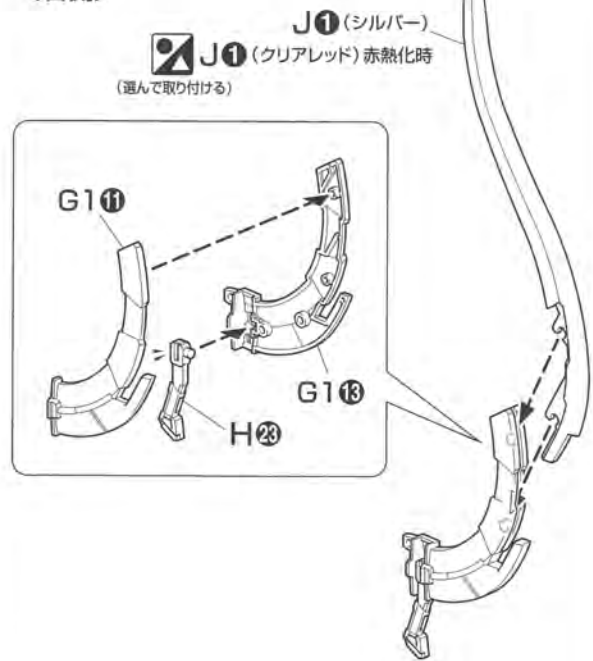


SEAL WEAPONS FINAL ASSEMBLE BACK PACK BOTTOM WAIST LEGS UPPER BODY ARMS HEAD BODY PARTS LIST HOW TO HOW TO PARTS LIST BODY HEAD ARMS UPPER BODY LEGS WAIST BOTTOM BACK PACK FINAL ASSEMBLE WEAPONS SEAL

13-1 HEAT SHOTEL

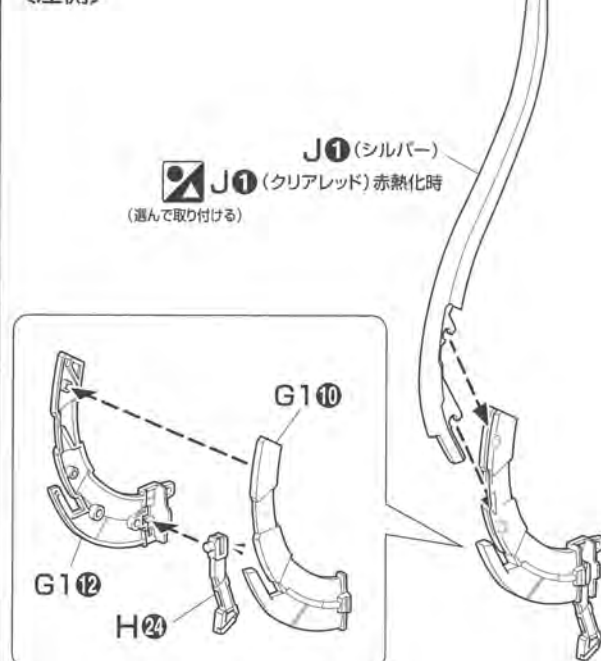
〔ヒートショーテルの組立〕

〔右側〕



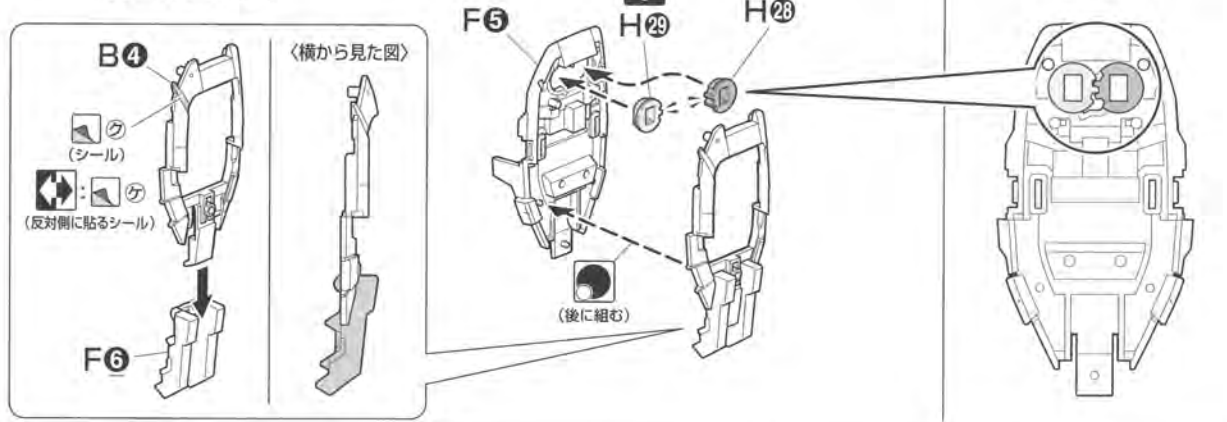
13-2

〔左側〕



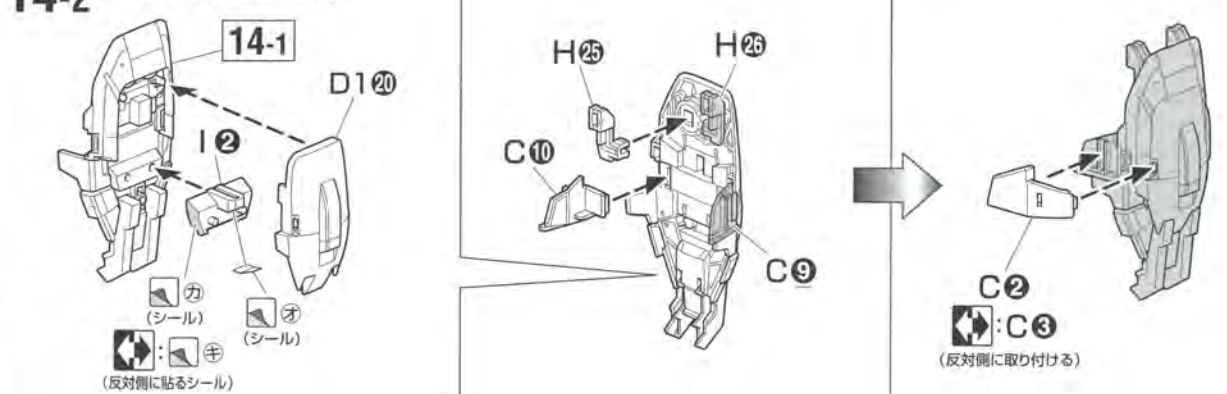
14-1 SHIELD

〔シールドの組立〕



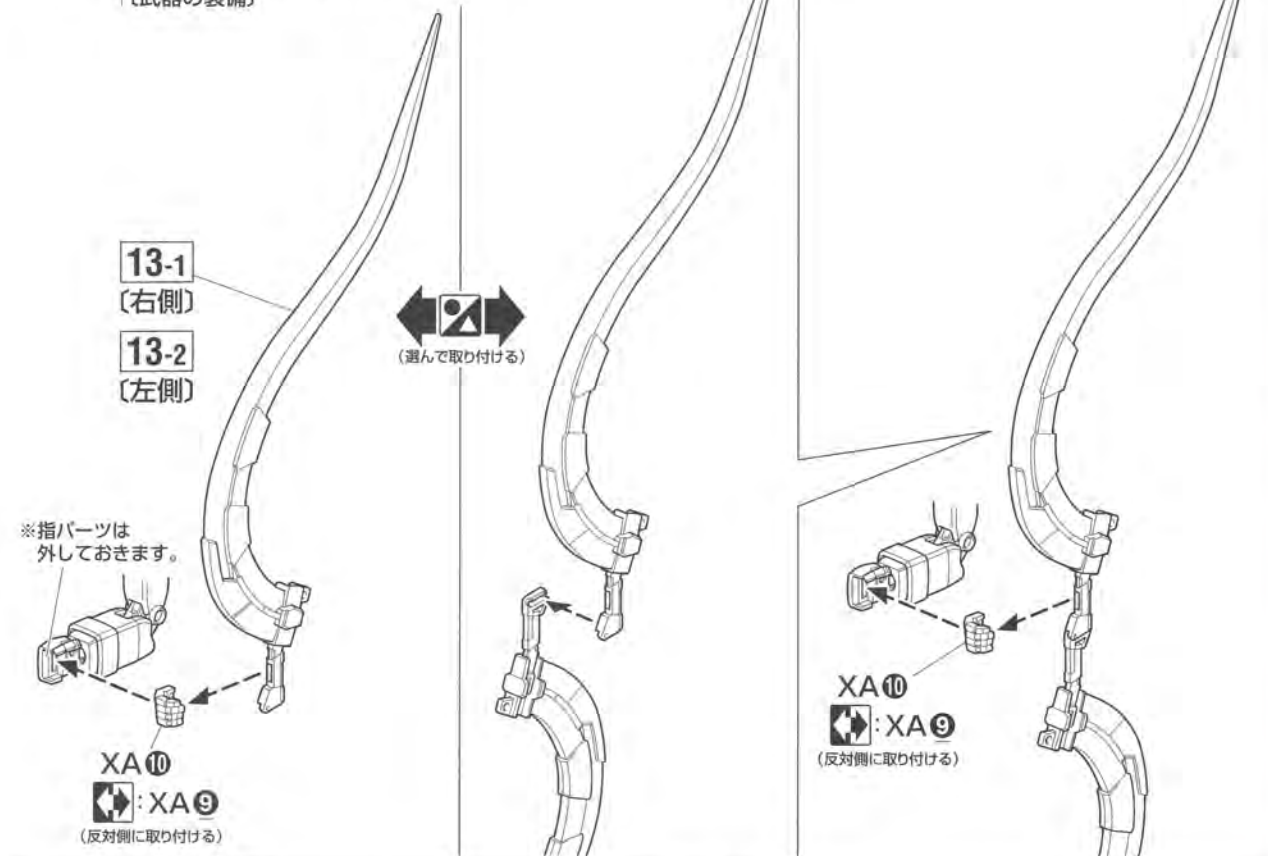
14-2

※シールドは先に貼ります。

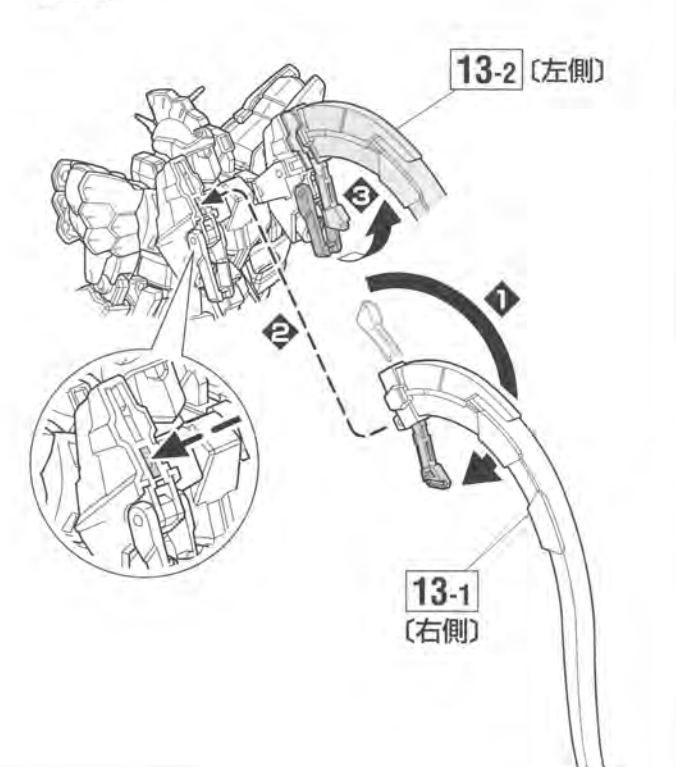


15-1 WEAPONS EQUIPMENT

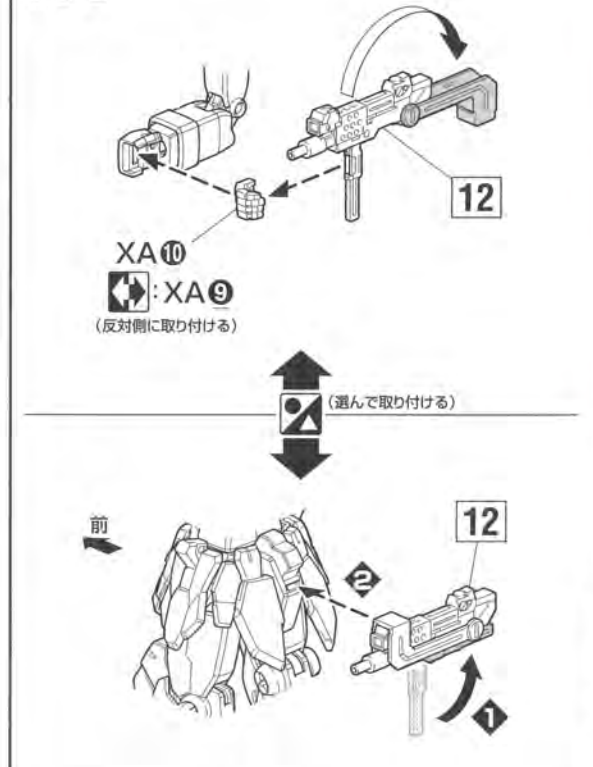
〔武器の装備〕



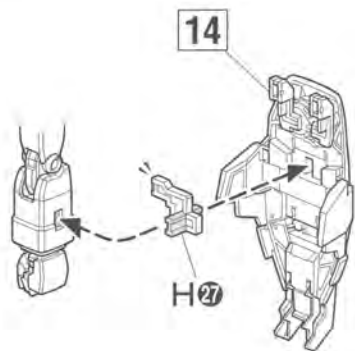
15-2



15-3



15-4



<クロー部の可動>



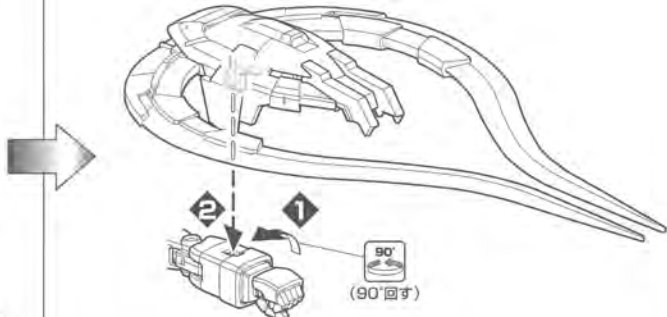
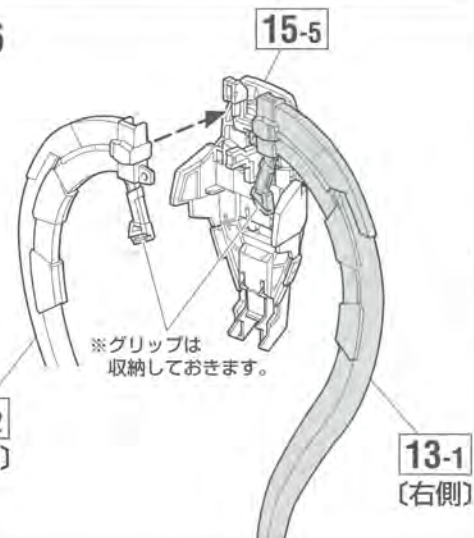
15-5

<クロスクラッシャー>

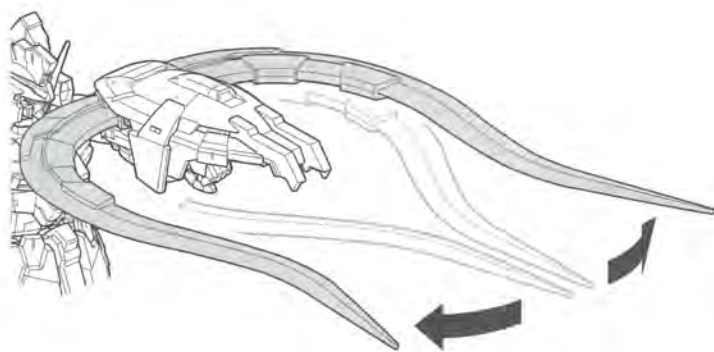


※H27を図の向きで取り付け直します。

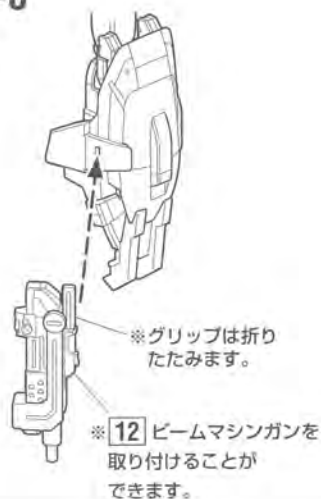
15-6



15-7



15-8



Seal

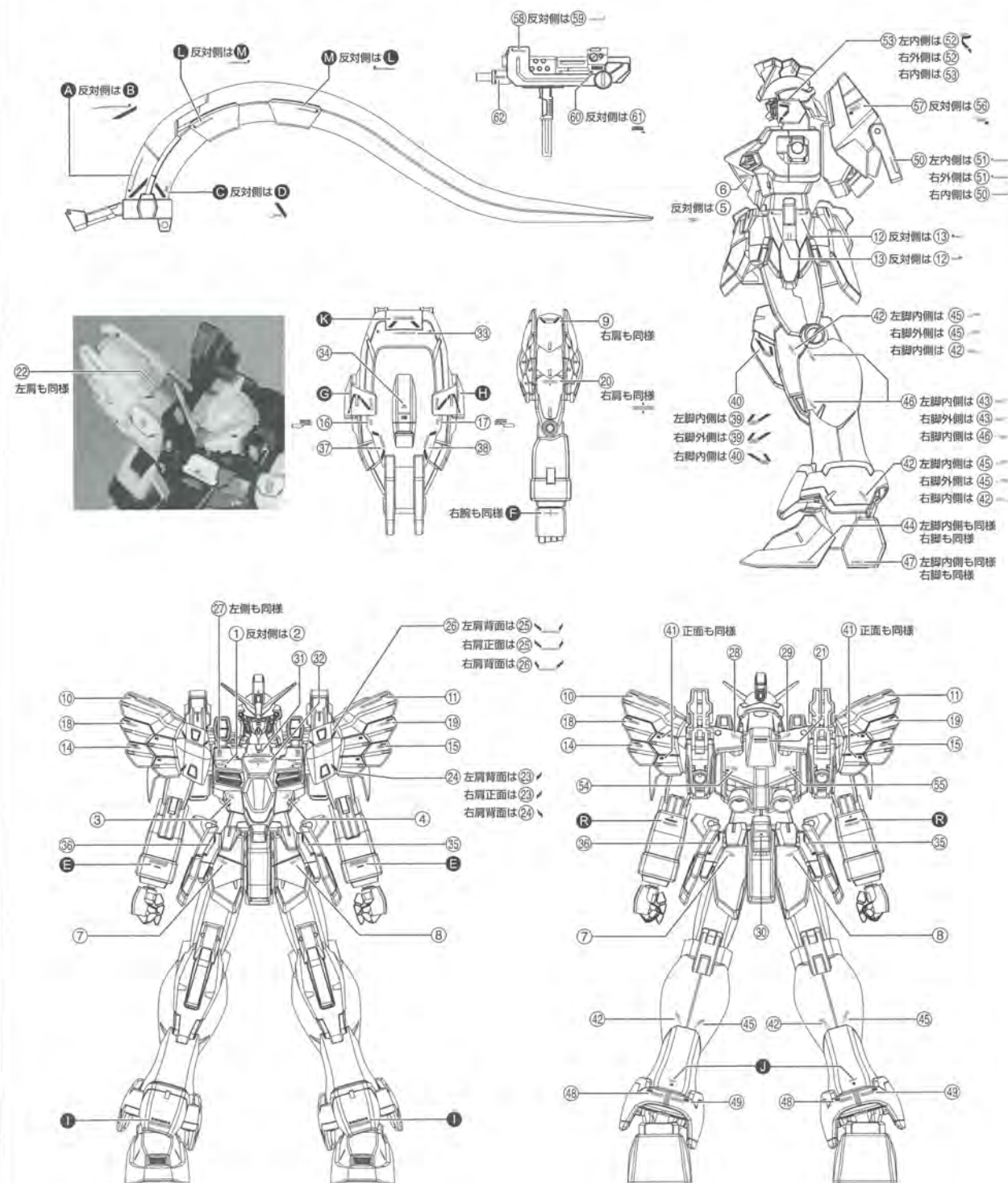
<シール> 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

マーキングシールは「数字」、ガンダムデカールは「英字」で表記してあります。
【例】①・・・マーキングシール A・・・ガンダムデカール

【ガンダムデカールの貼りかた】※P3のガンダムデカールの貼り方を参考に、裏せらずにしっかりと貼ってください。

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所にはってください。